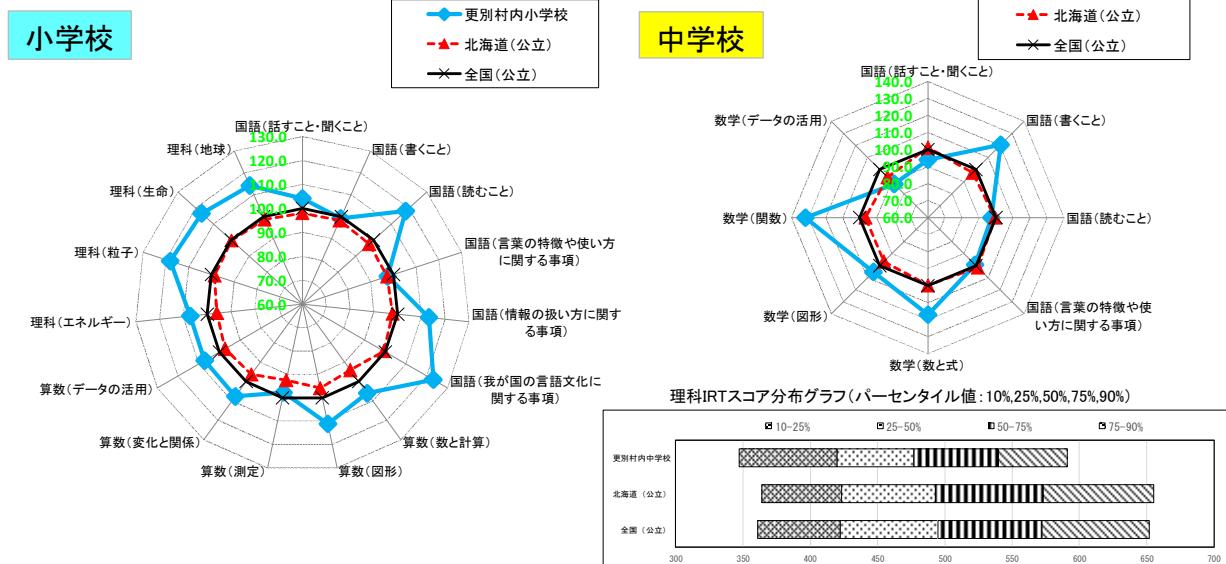


■更別村内の状況及び学力向上策 (小学校数:2校、児童数:14人) (中学校数:1校、生徒数:22人)

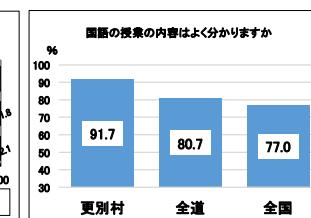
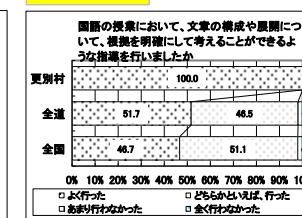
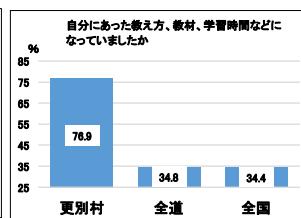
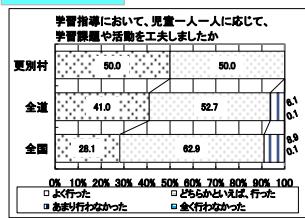
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率 ÷ 全国(公立)の平均正答率 × 100で算出)



【質問調査の状況】

小学校



【上記結果の考えられる要因の分析】

小学校

学習指導において、児童一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫してきたことにより、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていると回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったとともに、国語の2領域2事項、算数の4領域、理科の全領域で全国及び全道を上回ったと考えられる。

理科の授業において、問題に対して、既習の内容や生活経験を基に、予想や仮説を発想することができるような指導を行ったことにより、問題に対して答えがどのようになるのか、自分で予想(仮説)を考えていると回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったとともに、理科の全領域で全国及び全道を上回ったと考えられる。

中学校

国語の授業において、文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができるような指導を行ってきたことにより、国語の授業の内容はよく分かると肯定的に回答した生徒の割合が全国及び全道を上回ったとともに、国語の1領域で全国及び全道を上回ったと考えられる。

言語活動について、国語科を要としつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んできたことにより、数学の授業の内容はよく分かると肯定的に回答した生徒の割合が全国及び全道を上回ったとともに、数学の3領域で全国及び全道を上回ったと考えられる。

【更別村の学力向上策】

- ① 小中連携に向けた「学力・体力向上等サポート会議」による調査結果の分析及び授業改善に係る取組の推進
- ② 小・中学校9年間を見通した学習規律及び基本的な学習過程による系統的な指導の推進
- ③ 児童生徒の思考力、判断力、表現力等を高めるための1人1台端末の効果的な活用
- ④ 長期休業中における教職員の実践的指導力向上に向けた更別村・中札内村合同研修会の実施